

次世代の分散型電力システムに関する 検討会の設置について

2022年11月7日

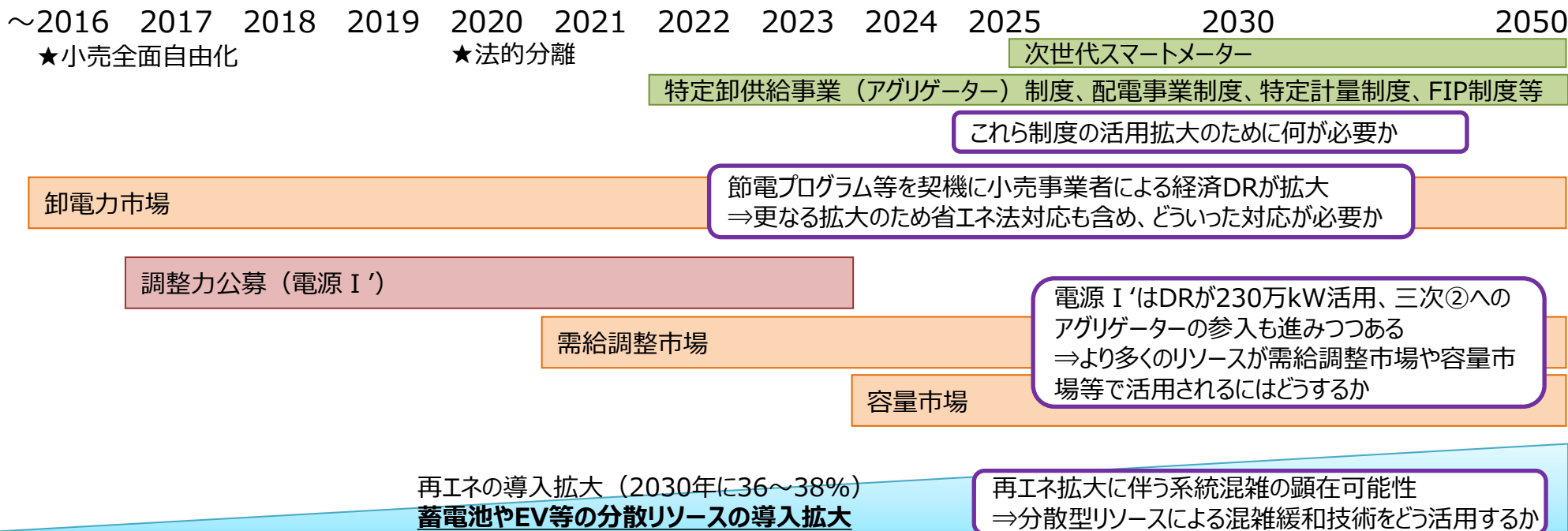
資源エネルギー庁

省エネルギー・新エネルギー部 新エネルギーシステム課

電力・ガス事業部 電力産業・市場室

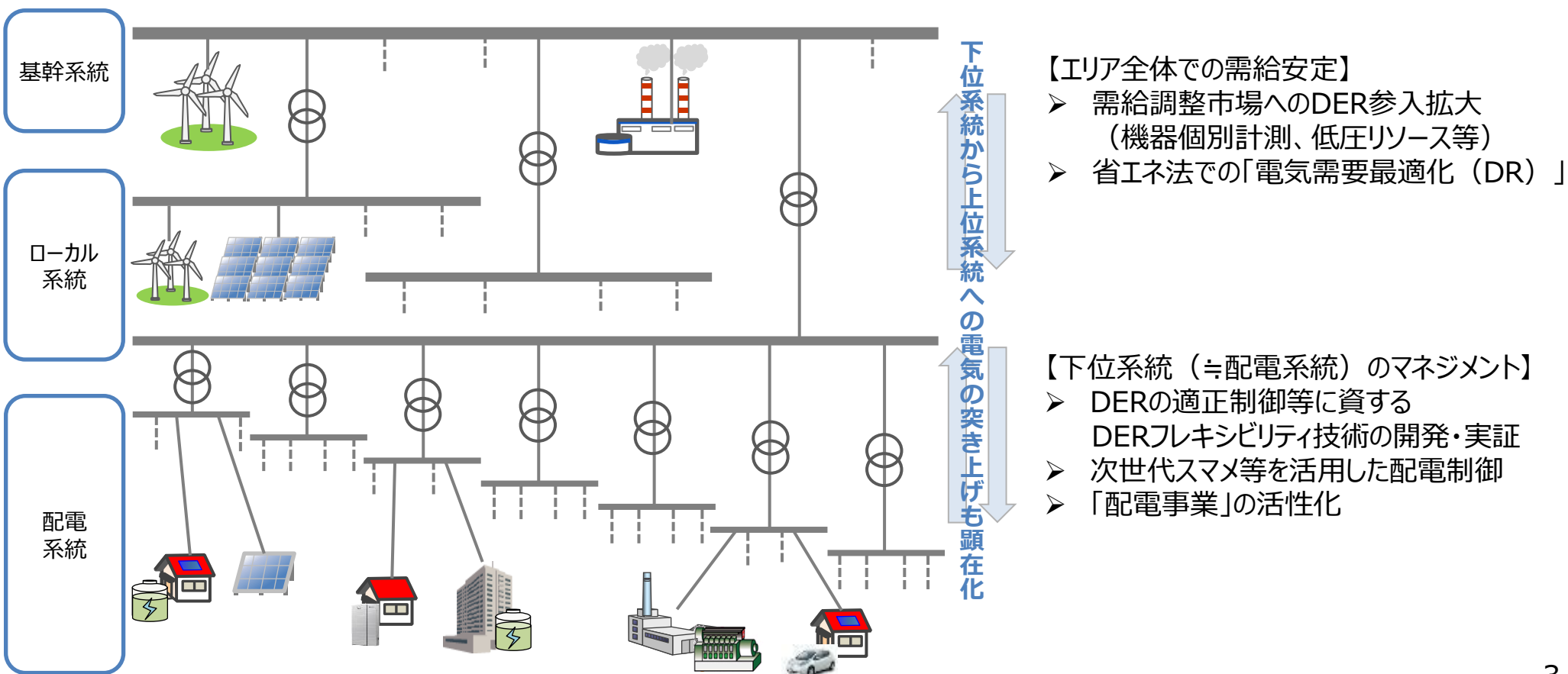
分散型リソースを取り巻く環境変化の進展

- 2011年の東日本大震災以降、カーボンニュートラルやレジリエンス等に対する関心の高まりを背景に、太陽光等の再エネや、蓄電池やEV等の分散型リソースの導入拡大が大きく進んでいる。
- 電力制度面においても、小売全面自由化や法的分離等を踏まえて卸電力市場、需給調整市場、容量市場等の各種電力市場の運開が進み、それぞれの市場への分散型リソースの参入も実現。また、2022年からは特定卸供給事業（アグリゲーター）制度、配電事業制度、特定計量制度、FIP制度等が始まる、また2025年度からは次世代スマートメーターの導入も開始予定であるなど、分散型リソースの活用拡大に向けた制度整備が進展。
- 引き続きカーボンニュートラル達成を目指しつつも、足元では電力需給ひっ迫等の課題も顕在化している中、これらの分散型リソースの潜在価値を「使い尽くす」ため、どういった措置が必要となるか。



電力系統の変化と分散型リソースの活用

- 太陽光や蓄電池等のリソースは、主に配電エリア（高圧・低圧）に接続され、その数は年々大きく増加。従来の上位系統から下位系統への電気の流れだけでなく、（非常に多くの）下位系統から上位系統への電気の流れも顕在化しつつある。
- こういった中で、全体の需給バランスの確保のみならず、下位系統の中でも電圧維持や系統混雑をマネジメントしていく必要が出てきており、そのために分散型リソースを活用することも期待される。



「次世代の分散型電力システムに関する検討会」の設置について

- カーボンニュートラルの達成に向けて再エネを中心とした分散型社会の更なる発展や、電力の安定供給確保のための対応策の一つとして分散型リソースの活用拡大に向け、**特に分散型・低圧リソースの活用による電力システムの効率化・強靱化の実現にあたって検討が必要となる論点の抽出・対応案の策定のため、「次世代の分散型電力システムに関する検討会」を新たに設置する。**

<委員等名簿（50音順、敬称略）>

	氏名	所属・役職
委員【座長】	林 泰弘	早稲田大学 大学院 先進理工学研究科 電気・情報生命専攻 教授
委員	岩船 由美子	東京大学 生産技術研究所 エネルギーシステムインテグレーション社会連携研究部門 特任教授
委員	爲近 英恵	名古屋市立大学 大学院 経済学研究科 准教授
委員	西村 陽	大阪大学 大学院 工学研究科 ビジネスエンジニアリング専攻 招聘教授
委員	馬場 旬平	東京大学 大学院 新領域創成科学研究科 先端エネルギー工学専攻 教授
委員	森川 博之	東京大学 大学院 工学系研究科 電気系工学専攻 教授
専門委員	市村 健	エナジープール・ジャパン株式会社 代表取締役社長兼CEO
専門委員	岡本 浩	東京電力パワーグリッド株式会社 取締役副社長執行役員
専門委員	下村 公彦	中部電力パワーグリッド株式会社 取締役
専門委員	平尾 宏明	株式会社エナリス 執行役員 事業企画本部長
専門委員	松浦 康雄	関西電力送配電株式会社 執行役員（配電部担当、情報技術部担当）
専門委員	盛次 隆宏	株式会社REXEV 取締役CPO
専門委員	和仁 寛	九州電力送配電株式会社 代表取締役副社長執行役員 系統技術本部長